

# 熊大通信

vol. 81  
2021 Summer

## 特集Ⅰ

研究成果を社会に「つなぐ」  
熊本大学  
産業ナノマテリアル研究所が創る未来

## 特集Ⅱ

熊本大学のSNS



(左) 1943 (昭和18) 年頃、阿蘇高岳 仙酔小屋の屋根で憩う山岳部員。戦況も厳しくなり小屋は壊れていたため、小屋の中にテントを張って泊まった  
(右) 屋久島のルート開拓を記録したノートとルート図

## 五高山岳部と屋久島

大正中期は日本における近代登山の揺籃期といわれ、大学や各地の高等学校に山岳部が誕生した。五高でも1916 (大正5) 年に山岳部が設立され、1919 (大正8) 年に山岳部となった。各校は競って高い山々への登頂や縦走ルートを開拓していった。五高山岳部も阿蘇・久住一帯をフィールドとして多くのルートを開いていったが、特筆すべきは、九州最高峰、宮之浦岳を擁する屋久島のルート開拓を行ったことである。1928 (昭和3) 年から1943 (昭和18) 年まで、ほぼ毎年遠征隊を送った。現在は登山の島として人気のある屋久島だが、当時は山林局職員以外は訪れる人もまれな島であった。現在も利用されている一般登山道の多くは五高山岳部が開拓したものである。

多くの五高山男の中からは日本登山史に名を残す人材も生まれた。黒部溪谷のルート開拓に参加し、その記録をステレオ写真として残した岩永信雄。熊本大学医学部で教鞭を執った後、医師として長野県に移住し、ヒマラヤ登頂などのキャリアを重ねるだけでなく、高所医療、登山医学の権威として名を成した古原和美などが知られている。

文 藤本秀子 (五高記念館)

※岩永信雄：1921 (大正10) 年1部英文科卒業。黒部川下之廊下核心区初週行や朝日連峰大朝日岳積雪期初登頂に参加、記録として左右一対の写真で立体として見ることができるステレオ写真を残している。2007年度に富山県立山博物館において特別企画展『実体視「黒部」溪を拓いたもう一つのまなざし…岩永信雄の世界』が開催された。

※古原和美：1944 (昭和19) 年理科甲類、1948 (昭和23) 年熊本医科大学卒業。深田久弥隊ヒマラヤ登頂参加など数々のキャリアを積み長野県山岳連盟初代会長を務める。また、医学研究だけでなく山岳診療所の指導なども行った。

※五高記念館(国指定重要文化財)は、熊本地震による被害のため長期休館中です。

# 熊大通信

vol. 81  
2021 Summer

## CONTENTS

- 03 特集Ⅰ 研究成果を社会に「つなぐ」  
熊本大学産業ナノマテリアル研究所が創る未来
- 11 研究室探訪 現場で起きている問題をテーマに「心」を学ぶ  
教育学部小学校教員養成課程心理学専修  
高岸 幸弘 准教授
- 13 特集Ⅱ 熊本大学の SNS
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 学生広報スタッフレポート
- 20 熊本大学 × SDGs
- 21 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ

### 熊本大学広報誌 熊大通信 vol.81

\*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

【発行】国立大学法人熊本大学  
〒860-8555 熊本市中区黒髪 2-39-1  
Tel.096-342-3269 Fax.096-342-3110 (総務部総務課広報戦略室)  
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【編集】熊大通信編集委員会  
茂木 俊伸 / 委員長 大学院人文社会科学部 (文学系)  
安高 啓明 / 大学院人文社会科学部 (文学系)  
松永 拓己 / 大学院教育学研究科  
松永詩乃美 / 大学院人文社会科学部 (法学系)  
原岡 喜重 / 大学院先端科学研究部 (理学系)  
黒田 雅利 / 大学院先端科学研究部 (工学系)  
坂梨 京子 / 大学院生命科学部 (保健学系)  
首藤 剛 / 大学院生命科学部 (薬学系)  
内山 佳世 / 総務部総務課広報戦略室

【制作】株式会社 談

表紙 / 【原画】松永拓己 / 大学院教育学研究科 准教授  
花火と立田山やエクチナシの咲く理学部棟前にて



©2010 熊本県くまモン #K33711

### 未来へつなぐ。 — 熊本大学と SDGs —



私たちの暮らしのあらゆる場面で使われるプラスチック。便利な反面、細かく砕け散って回収が困難になったマイクロプラスチック (5mm 以下の大きさになったプラスチック) が自然環境、特に海洋生物に与える影響が大きな問題となっています。中田晴彦准教授が研究しているのは、マイクロプラスチックとその中に含まれる添加剤の微量分析。生態系への影響を調査するとともに、多くの人にマイクロプラスチックの存在を知ってもらい、プラスチック使用を「減らす」「出さない」「回収する」活動につなげるため、プラスチック片を使ったアート作品制作などのワークショップも行っています。



大学院先端科学研究部 (理学系)  
中田 晴彦 准教授

SDGs とは・・・  
Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。2015 年の国連サミットで採択された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。  
※熊本大学の取組と中田准教授の研究内容については 20 ページでもご紹介しています

# 研究成果を社会につなぐ

熊本大学産業ナノマテリアル研究所が創る未来

1 2  
4 3



## 産業ナノマテリアル研究所の組織と研究分野

工学部、理学部、薬学部の各分野の研究者が集結し、5部門からなる総合研究所として分野横断的な研究を実施しています。研究手法や成果を融合させ、これまでにない新しい産業の創出につながる国際的な中核研究拠点を目指します。

応用

### バイオマテリアル部門

- バイオマテリアル
- バイオエレクトロニクス

コア部門

### 二次元ナノマテリアル部門

- ナノシート
- 酸化グラフェン
- 機能評価

理論的サポート

### 材料インフォマティクス部門

- 計算科学・AI
- 分析・解析
- IoT

コア部門

### 表面・粒界部門

- 触媒機能
- 粒界機能
- 薄膜

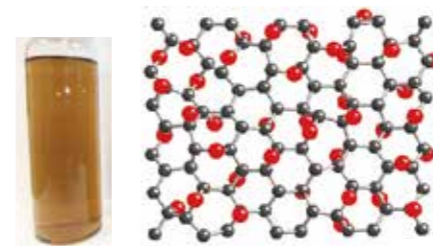
応用

### 材料プロセス部門

- 衝撃エネルギープロセス
- 電気パルスプロセス
- 表面・接合加工プロセス

産業への応用・企業との共同研究

1 厚みが分子レベルの二次元ナノマテリアルをシート状にして重ねた二次元ナノシート 2 爆薬を使った衝撃波を活用して金属箔材料の表面に微細な加工を施す技術 3 半導体にナノ粒子の膜をつけたガスセンサ。人の呼吸から病気の検知が可能になる 4 酸化グラフェンの構造(右)とその水溶液(左)



### 工・理・薬分野の研究を融合 新たな知の領域の創造を目指す

本研究所は、2020年4月に設立され、約40名の研究者が二次元ナノマテリアル部門をコアに、新素材やデバイス創生につながる研究を行っています。ナノは10億分の1の単位で、その極限の薄さによる特性を生かした次世代材料の開発が期待されています。中でも、ナノシート素材として今後さまざまな応用が期待されている「酸化グラフェン」の研究は世界的にも注目されています。

このような材料研究に、これまで熊本大学で行われてきた衝撃エネルギー研究、パルスパワー

研究などの極限プロセス研究やバイオマテリアル部門研究を融合し、独自の研究領域の創造を目指します。

研究所のもう一つの大きな特徴は、5部門からなる総合研究所として、多様な分野の研究者が集まり、基礎研究から応用研究までを総合的に展開していることです。二次元ナノマテリアルの機能に関する基礎研究を、AI(機械学習)を活用した理論で支え、社会にどのように応用していけるかを産業界と共に考え、提案していきたいと考えています。

熊本大学  
産業ナノマテリアル研究所長  
伊田 進太郎 教授  
IDA Shintaro

各研究者の研究内容は産業ナノマテリアル研究所ウェブサイトでご覧いただけます。





profile

1988年九州大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。長崎大学、JST-ERATOプロジェクトを経て、2016年熊本大学へ。専門は高分子化学、超分子。

「見る」「作る」「使う」  
3つの観点から  
新材料を生み出す

ポリマーの性質は、ポリマーを形成する原子や分子の塊の組み合わせやつなぎ方に左右されます。國武教授の研究室では、分子をつなぐ技術が、さまざまな新しい機能性を持った材料開発などの成果につながっています。

材料開発研究において國武教授が重視しているのは、見る、作る、使うの3つの観点です。「見る」ことは構造を調べること。「作る」は合成したり、分子構造をデザイン

ナノレベルで分子が  
つながる自己組織化の  
メカニズムを探る

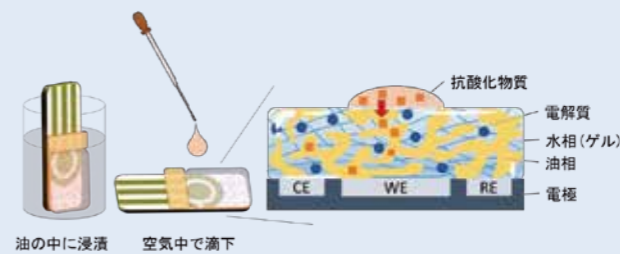
産業ナノマテリアル研究所の研究のコアとなっているのが「二次元ナノマテリアル部門」です。その中で新たな機能を持つナノシート開発につながる研究を行っているのが國武雅司教授です。

國武教授の研究のキーワードは「自己組織化」です。自己組織化とは、ナノレベルの分子が自然に並ぶこと。「こう並んで欲しいと思っても分子は思い通りには動きません。そこで、自己組織化のメカニズムを解明しようというのが研究の1つの柱です。いわば『分子の気持ちになつて考える』研究ですね」と國武教授は言います。

分子の自己組織化を制御し、意図する構造に並べることができれば、これまでにない機能を持った新しい材料の開発につながります。これまでも多くの材料開発につながる成果

したりすること。使うは機能や特性に着目して活用や製品化などにつながることです。この3つの間の関係関係の理解が、新しい材料を生み出すために重要だ」と國武教授。特に「見るの部分にあたる研究はブラックボックスになっている部分が大きく、知っていることや見えていることだから考えないことが大切だと話します。「わかった気にならず、目の前にある現象をしっかり

シート型電気化学システムの  
模式図



を発表している國武教授。それまではできなかった、油分を含む食品の抗酸化能を測定し品質管理ができるシート素材などを開発しています。

研究のもう一つのキーワードが「ポリマー」。ポリマーとは分子量が1万を超える高分子のことで、プラスチックや繊維、DNAなどさまざまなものが含まれています。

見て、調べて、考えることが何より重要です。

新しい機能をもつ素材を開発する研究は「クリエイティブ」であることが重要だというのも國武教授の持論。「大学は新しいものを生み出すところ。そこに達成感があります。そのためには人と違うことを恐れないうことが大事です。逆に人と同じことを恐れてほしくないですね」と学生への思いを話してくれました。





profile

1999年熊本大学大学院工学研究科電気情報工学専攻修士課程修了。同年熊本大学へ。2003年熊本大学博士(工学)取得。専門はパルスパワー工学。

パルスパワーの応用で  
食中毒の原因を  
排除する技術へ

パルスパワーを応用した技術として実用化が進んでいるのが、食中毒の原因となる寄生虫アニサキスを殺虫する装置です。アニサキスは魚介類の内臓に寄生しており、人が食べると食中毒を引き起こします。どんな魚介類にも寄生している可能性があります。ありますが、アニサキスが寄生しているかどうか外側から見分けることは困難で、効果的に駆除する方法も確立していませんでした。「実験で、魚のフィレーにパルスパワーをあてることで99.9%以上殺虫できることが分かりました。電力を瞬間的にあてるだけで風味を変えること

ナノ秒単位で電力を放出し  
巨大なパワーを発生させる

私たちの暮らしの中で使われている電気。この電気が持つエネルギーを非常に短い時間で放出すると、極めて大きな電気力(電力)を発生させることができます。例えば、1000Wの電気ポットを1分間使用するときのエネルギーを10億分の1秒で放出すると、世界の総発電電力に匹敵する電力になります。これがパルスパワーです。

「パルスパワーにはさまざまな作用があることが分かっています。例えば液体の中で発生させれば水環境の浄化ができたり、植物にパルスパワーをあてれば成長を促進させたりできます」と語るのはパルスパワーを発生させる電源開発や応用方法を研究している浪平准教授です。高効率でより強いパワーを得るためには、より短時間でエネルギーを放出することがポイントになります。現在浪平准教授が目指しているの

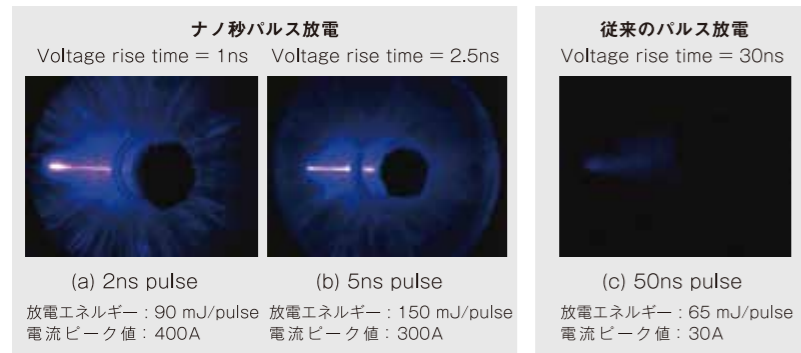


パルスパワーを発生させる電源開発も行うため、さまざまなサイズのネジやボルトが揃う実験室。「専門店なみの種類があると思います」と浪平准教授

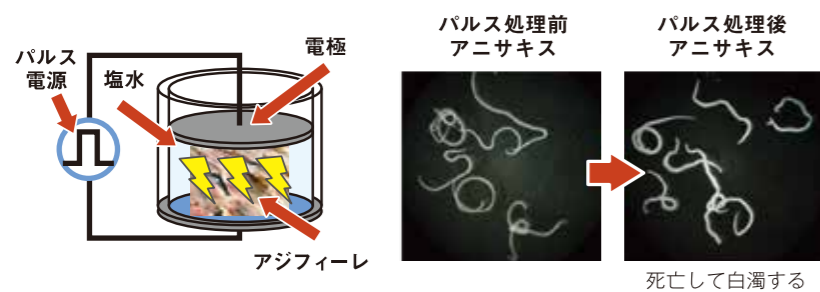
はナノ秒(10億分の1秒)を切る短時間でパルスパワーを発生させられる電源の開発です。「ナノ秒を切ると現象が変わることが予測されています。どんな現象が起きるのかを明らかにするのが目標です」

【 ナノ秒パルス放電を捉えた写真 】

放電条件：電極間印加電圧：50kV 撮影条件：露光時間 1/30-s 雰囲気ガス：窒素



より短い時間のパルスにすることでより強く放電することができる



塩水に入れたアジフィーレにパルス大電流を流すことで、フィーレ内のアニサキスを殺虫できる

もありません。生の魚を食べるといふ和食文化を守ることにもつながるのではないのでしょうか」と浪平准教授は語ります。

そのほか、二酸化炭素にパルスパワーをあて、一酸化炭素と酸素に分解する技術も開発中です。「二酸化炭素が多い火星で酸素を生成することが可能になれば、火星探査が大きい

く変わるかもしれません」

今後ナノマテリアル開発技術への応用で、新しい材料開発につながることも期待されているパルスパワー。「こんなことができないか、という発想が新しい技術につながっています。多くの企業と連携しながらその可能性を広げていきたいですね」



profile

1987年大阪市立大学理学部  
研究科前期博士課程（物理学専攻）修了。大阪市立大学を経て、2007年熊本大学へ。専門はデータ駆動科学、光物性物理学。

実践的な人材育成で  
情報科学を  
身近なものに

さらに、材料開発に機械学習を活用することのメリットは、新しい結果が得られるというだけではありません。「これまで膨大なデータ分析をするためにはスーパーコンピュータが必要でしたが、機械学習であれば通常使っているコンピュータでも分析が可能になります。研究者が手元で多くのデータをこれまでより短い時間で分析できるようになれば、材料開発は大きくスピードアップするし、成果もあがると思います。機械学習の技術を、電卓をたたくように使ってもらえるようにしていきたいですね」と赤井教授。

情報科学が拓く  
新しい材料開発の手法

赤井一郎教授の研究は、材料研究と情報科学の融合です。「これまでの材料開発研究では、職人や研究者が自らの経験に基づいて開発し、機能性を解析してきました。ここに情報科学の手法、中でも機械学習を取り入れることで、材料開発の新しい世界が広がっていくと考えています」と赤井教授は話します。機械学習では客観的な分析や、これまでは解析できていなかった膨大なデータの解析も可能になります。実際に解析していくことで、それまで見出されていなかった新しい手法や分析結果を次々に発表。「情報科学と材料開発をつなぐことで見えてきたことは、当初の予想を超えていました。今後もしろいろな分野に広がっていくのではないかと思います」

その一つが機械学習の手法を活用した磁石材料の解析法の開発です。磁石の強さを測定することで、それ

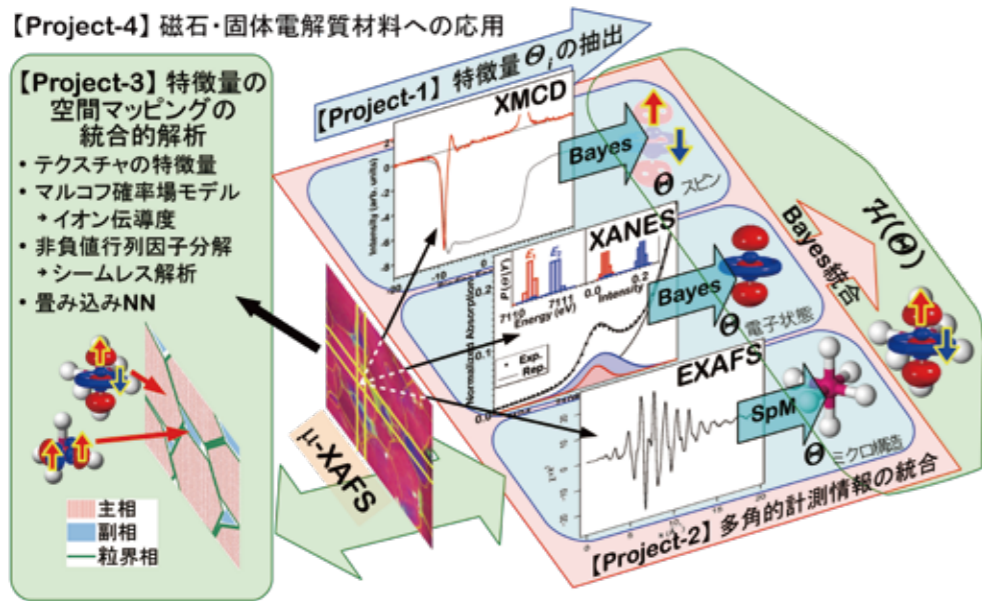
また、情報と材料研究の融合を社会に還元するため、2021年10月からリカレント教育として企業の技術者を対象に、情報科学を活かした

ものづくりを行う人材育成教育プログラムも開始予定。産業界と大学をつなぎ、共同研究や実践的な研究開発がますます広がっていくそうです。

までのデータからは見ることができなかった磁石の強さの原因となる電子の動きに関する情報を再現することに世界で初めて成功。これにより、より強い磁石材料の開発に貢献できることが期待されています。



データ駆動科学による高次元 X 線吸収計測のモデル



赤井教授のグループによる、放射光を用いて計測した物質の構造データから材料が持つ物性と機能を解明する手法の研究モデル。Bayes（ベイズ）分光や SpM（スーパーモデリング）などのデータ駆動科学手法を用いることで、それまで解明できなかった構造と機能の関係を明らかにできる。

# 研究室探訪

Laboratory Report

教育学部小学校教員養成課程心理学専修

高岸 幸弘 准教授

TAKAGISHI Yukihiko



## 現場で起きている問題をテーマに「心」を学ぶ

### 先生から一言!

#### 実際の現場の問題をテーマに



大学院人文社会科学部  
高岸 幸弘 准教授

この研究室は臨床心理学をテーマに研究しています。私は、児童福祉施設で臨床心理士として勤務した経験もあり、児童福祉や虐待などの問題を取り扱っています。学生の研究テーマはさまざまですが、問題や悩みが生じた場面が臨床心理学の研究対象になります。福祉の現場で起きていることや事例などを、できるだけ学生に伝えるように心がけています。心理学の魅力は、自分の周りにあるあらゆるものが対象になること。自分の生活の半径50cmの中に発見があります。日々の暮らしが科学になる心理学の面白さを感じてもらいたいですね。

てもらえます。現場をイメージしながら知識が深められるのがいいなと思っています。

#### 将来は?

心の健康に携わる仕事につきたいと思っており、臨床心理士やカウンセラーなどを目指しています。その点でも、実際に臨床心理士である先生の経験談や事例を交えた話はとても興味深いです。

場で生かしていきたいですね。

#### 研究室のよいところは?

少人数なので、いつも和気あいあいとしています。ゼミも堅苦しいイメージはまったくありません。ディスカッションでもいろいろな意見を自由に出し合える雰囲気があります。先生もいろいろな発言をされますが、内容が面白くて知的。自虐的な話も交えながら、経験したことをたくさん教えてくれますよ。たくさんの学びがありますよ。

## うちの研究室自慢

### ■ 研究室の特徴

#### ① 研究テーマ

研究テーマは学生それぞれの興味があるものを取り上げています。今年度は、発達障害やうつ病、集団心理などです。

#### ② 研究室の雰囲気

少人数の研究室でとてもフレンドリー。ゼミでの発言も多く、先生だけでなく同級生の言葉からも多くの気づきがあります。

#### ③ 自由なディスカッションのゼミ

ゼミでは現場から出てくる問題などについて自由にディスカッション。正しい答えがあるわけではないので、先生も含め、対等な立場で発言しています。しゃべっている中でいろいろなことが発見できます。



心理療法演習風景



心理検査演習風景

### ■ 主な就職先

学校教員  
大学院進学(臨床心理士・公認心理師資格取得のため)  
公務員(心理職)、一般企業 ほか

### 学生から一言! 研究室に所属している学生に研究の魅力を聴きました!



#### 先生がすすめてくれる本がいい! 目からウロコが落ちました



教育学部小学校教員養成課程心理学専修4年  
おかだ ゆうし  
岡田 優志 さん

私の研究テーマは「自己愛」。自己中心的な性格などについて研究したいと思っています。研究室には4年生で配属されますが、それまで心理学を学んだことがなく、先生からテーマにあった本を紹介してもらいました。『行動分析学入門』という研究手法の本でしたが、科学や研究についての考え方が大きく変わりました。目からウロコで、研究する、ということがわかったように思います。将来は小学校の先生になりたいと思っています。学んだことを現

#### 経験に裏付けられた事例で知識が深められます



教育学部小学校教員養成課程心理学専修4年  
うめだ ようこ  
梅田 啓子 さん

研究テーマは「病むこととパーソナリティ」です。新型うつ病や周囲からの刺激を受けやすいHSA (Highly Sensitive Person) などに興味があり、このテーマを選びました。もともと心に関心があり、人の無意識について学びたいと思っていました。高岸先生は、児童福祉の現場に長くいらつしゃったこともあり、ゼミでは実際にあったさまざまなケースを紹介し

#### どんな研究を?

熊本大学の「今」をすぐにチェック！フォローしてつながろう！

# Twitter

短文での情報発信が特徴のTwitterでは、リアルタイムに「今」伝えたい情報が発信されています。  
アカウントをもっている先生も多く、フォローしてコミュニケーションをとっている人も多いですよ。



文学部コミュニケーション情報学科4年 河野 美月さん

大学公式Twitterではコロナ関連のお知らせやボランティア募集などが投稿されていて、リアルタイムで情報を得ることができて助かっています。  
学生広報スタッフのアカウントでは、新入生や受験生に向けて、大学や熊本の魅力を発信しています！

◆熊本大学 Kumamoto University @kumamotoUniv\_PR



2019年2月から熊本大学公式アカウントとして運用を開始し、熊本大学のリアルタイムな情報を毎日お届けしています。大学の最新情報はここからチェック！

◆熊本大学 学生広報 @kumadai\_ko\_ho



2020年11月から、学生広報スタッフが学生目線で熊本大学の魅力を発信しています！アンケートや質問ツールを使った双方向型の情報発信を精力的に行っています。

◆熊本大学 URA 推進室 @URA69096009



熊本大学の教員の研究活動のサポートを行う URA 推進室が運営するアカウント。研究支援情報や成果情報のほか、各教員の研究アカウントもリツイートで紹介しています。

◆熊本大学附属図書館 @KumadaiLib



2012年4月から正式運用されている熊本大学附属図書館のアカウント。図書館公認キャラクター「くまぼん」が、図書館のお役立ち情報を教えてくれます。

その他のアカウント

- 熊本大学 工学部 (@KU\_eng\_official)
- 熊本創生推進機構 地域連携部門 (@kumadaikido)
- International Research Center for Medical Sciences (IRCMS) (@IRCMS\_KU)
- 生命資源研究・支援センター (@IRDA\_KU)
- 熊本大学附属図書館ティーチング・アシスタント (@KumadaiLibTA)



# 熊本大学の SNS

social networking service

熊大生にとって、趣味だけでなく大学情報や暮らしに必要な情報を得るために必要不可欠になっているのが SNS です。  
今回は、熊本大学学生広報スタッフが、いろいろな熊本大学公式アカウントと活用法をご紹介します！

## SNS とは

SNS とは、ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、会員登録した利用者同士が交流できるウェブサイトのサービスのことです。

代表的な SNS のサービスには、ツイッター (Twitter)、フェイスブック (Facebook)、ユーチューブ (YouTube)、インスタグラム (Instagram) などがあります。

## 「熊本大学公式アカウント」とは？

主要なコミュニケーションツールとして普及している SNS は、「ソーシャル・メディア」として、熊本大学の広報活動にも活用されています。  
SNS を利用するための権利を「アカウント」と呼び、

熊本大学では、広報担当の理事から許可を受けて部局等が運用しているアカウントを「熊本大学公式アカウント」として認めています。

## SNS をやってみよう！でも、気をつけることは？

公式アカウント以外にも、熊本大学の学生・教職員等が個人で SNS を運用することができますが、SNS での不適切な情報発信により、大学や他者も巻き込む事件になる危険性があります。SNS を適切に利用することができるよう熊本大学では「ソーシャル・メディア・ガイドライン」を定めています。



熊本大学  
ソーシャル・メディア・  
ガイドライン





キャンパスでの学生生活から最新の研究まで、動画でわかりやすい！

# YouTube

こだわりの編集で作られている動画は、文章や写真だけの情報よりも分かりやすく、情報を深く伝えることができます。コンパクトにまとめられた動画も多いので、ぜひご覧ください。

熊本大学の雰囲気を知りたい方はYouTubeがオススメです。学生広報スタッフのチャンネルでは学校の雰囲気をできるだけリアルに感じてもらえるような動画を作成しています！ぜひ動画を通して、大学の魅力を感じてみてください！



文学部コミュニケーション情報学科4年 大屋 陸さん

### ◆熊本大学 Kumamoto University



月1回、J:COM チャンネル熊本にて放送される熊本大学の紹介番組のほか、五高記念館や埋蔵文化財調査センターが作成した動画で、大学の歴史を学ぶこともできます。

### ◆熊本大学学生広報チャンネル「月が綺麗ですね。」



学生広報スタッフが自ら企画・取材・編集した動画を公開しています。キャンパスツアーや学生インタビューなど、見ているだけで楽しそうな学生生活の様子が伝わってきます。

### その他のアカウント

- 熊本大学医学部医学科 Kumamoto University School of Medicine
- 熊本大学薬学部
- 熊本大学医学教育部
- 熊本県「私のカルテ」がん診療センター
- 発生医学研究所
- 熊本大学 大学教育統括管理運営機構
- 熊本大学学生支援室



## 魅力的な写真で熊本大学をPR！

# Instagram

熊本大学の“エモい”写真が多くアップされているInstagram。少し違った目線で熊本大学の魅力が分かるかもしれません。



文学部コミュニケーション情報学科4年 前田 美沙希さん

写真や文章を使ってより多くの情報を発信しているのが、公式Instagramです！大学のおしゃれ写真や熊本のおすすめスポットなど、新入生や受験生に向けて発信しています。おすすめポイントなども紹介しているので、志望校を選ぶ際の参考してみてくださいね。

### ◆熊本大学学生広報 kumadai\_ko\_ho



学生広報スタッフおすすめの熊本大学、熊本のスポットなどを紹介しています。

### その他のアカウント

- 熊本創生推進機構 地域連携部門 (kumamotokido)
- 熊本大学附属図書館 ティーチング・アシスタント (kumadai\_lib\_ta)

## 興味のあるイベント情報を探してみよう

# Facebook

実名で登録するため、フォーマルな関係者間でのコミュニケーションが特徴のFacebook。地域でのイベントや留学生イベントなど、興味のあるアカウントをチェックしてみてください。

実名で登録されているので、間違った情報が拡散されにくいのがFacebookだと思います。熊本大学の公式アカウントも多いので、公式のボランティア情報などを集める際には利用したいと思っています！



法学部法学科4年 阿比留 りこさん

### ◆熊本創生推進機構 地域連携部門



産学官連携活動及び地域連携活動を推進する熊本創生推進機構が運用するアカウント。機構が実施するボランティアや公開講座等の情報が掲載されています。

### ◆Kumamoto University International Students Office



国際教育課が運用する留学生向けの情報を発信するアカウント。“熊本大学から世界へ。世界から熊本大学へ。”学生のグローバルな活躍を応援します！

### ◆熊本大学ましきラボ



復興・まちづくりの拠点として2016年に益城町に開設された「ましきラボ」。地域住民の方との対話やワークショップなどのイベント情報を定期的に発信しています。

### ◆熊本大学デジタルアーカイブ室



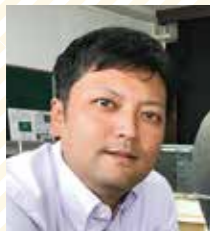
熊本地震の記憶や教訓を記録し後世に伝え、地震災害に限らず将来起こりうる災害への備えの必要性を伝える研究・教育活動に取り組むデジタルアーカイブ室の活動を紹介しています。

### その他のアカウント

- 熊本大学博士課程教育リーディングプログラム「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO」
- 熊本大学で生涯学習！
- IMEG / 熊本大学発生医学研究所
- IRCMS - International Research Center for Medical Sciences
- 生命資源研究・支援センター
- Kumamoto University, Organization for Globalization



## 文 「文化財は人に元気を与える貴重な資源」が仕事のモットー



熊大のココがイイ！

赤レンガ建物、白川、立田山など自然と歴史が調和したキャンパス。

### 民俗学者でもある恩師の指導を受け、大学院まで進学

特に夢はなく、マスコミなどの現場職に就ければと漠然と考えていました。それでも、世界史が好きだったので、進学先は歴史系と決めていました。民俗学者でもある高校時代の恩師から、その進路であれば大学院まで進学してしっかりと勉強するよう指導されました。専門を活かした仕事を暗にアドバイスしてくれたのかもしれない。

### 研究に、サークルに、充実した学生生活

学部時代は所属研究室(考古学研究室)の実習、大学院生時代は専門の研究に明け暮れた日々。しかし、学業ばかりではなく、友人や先輩・後輩と遅くまで飲んで語り、バスケットボールのサークルで汗を流すなど、充実した学生生活を送りました。博士課程進学後は韓国、中国、ロシアでの調査に参加し、世界の広さを体感しました。

### 文化財を地域資源、教育資源として活用する方策を検討

大学院博士課程在籍中に地方公務員になり、市町村の文化財保護行政に15年携わりました(博士号は2年間の休学を経て在職3年目に取得)。現場では熊本大学構内にある遺跡の調査・研究に従事。「文化財は人に元気を与える貴重な資源」をモットーに、文化財を地域資源、教育資源として活用する方策を日々検討しています。

## 理 IT技術者として約10年間勤め、現在は会社の経営に関する業務に従事



熊大のココがイイ！

自然豊かで、人間味のあふれる人が多いところ。

### 理系の道に進もうと考え、理学部を志望

高校生のころは、はっきりとこれが夢だというものはありませんでした。ただ、中学生のころから数学が好きで、さらに高校生で物理、化学を学び、理系の道に進もうと考えていたので、熊本大学理学部を志望しました。

### 学園祭の実行委員の活動で、ビジネスの基本を学べた

学園祭の実行委員として活動する毎日でした。思い返せば、予算があり、スケジュールを設定し、様々な人とコミュニケーションをとりながら物事を進めていくという、ビジネスの基本を学ぶことができたように思います。お世辞にも学業に集中していたとは言い難い状況でしたが、人生の糧となる経験ができた大学生活でした。

### 大学時代にITに興味を持ち、IT企業に就職

在学中にITに興味を持ち、IT関連の仕事がしたいと考え、現在勤務している会社を選びました。入社から約10年、IT技術者として科学技術系の業務に携わりました。その後異動を経て、現在は会社の中長期計画の策定や会社全体の方針を検討する業務に携わっています。

## 医 臨床検査技師をしながら、災害医療派遣の資格取得を目指しています



熊大のココがイイ！

尊敬できる先生方、充実した研究環境、学生食堂の美味しいごはん！

### 入院経験をきっかけに、医療の仕事に興味を抱いた

高校2年のときに肺炎を患い、入院先の病院で医療従事者の方々にお世話になりました。その経験をきっかけに、自分自身も医療関係の仕事に携わりたいと、漠然と考えるようになりました。医療職について詳しく調べていく中で、幅広い分野の臨床検査を行う臨床検査技師の存在を知り、興味を抱きました。

### 先生や仲間のサポートのもと、幅広い研究や学会発表に挑戦できた

大学での専門科目の勉強は楽しく、前のめりの姿勢で日々勉学に励みました。大学院での研究は努力がすぐに結果に繋がるものではなく、行き詰まって悩んだ時期もありました。そのような中でも、先生方のご指導や仲間のサポートのもと、幅広い研究や学会発表などに挑戦することができ、大変貴重な経験になりました。

### 熊本地震の経験から、災害医療に貢献できる医療従事者を目指す

大学院入学直後に熊本地震を経験。災害医療に貢献できる医療従事者になりたいと考えるようになりました。現在は臨床検査技師として大学病院で働きながら、災害医療派遣チームの資格取得を目指しています。新型コロナウイルスの感染拡大により日常の検査体制が大きく変化し不安もありますが、目の前の仕事に真摯に向き合い精一杯頑張ります。

## 法 不動産の名義変更や会社の設立など幅広い業務に携わっています



熊大のココがイイ！

少人数のゼミ形式の授業が多くあるので、初歩的な疑問点を質問しやすい。

### 司法書士の父親や裁判員制度の導入などに影響を受けた高校時代

地元白杵市で、父親が司法書士事務所を営んでいたため、何となく司法書士などの士業になりたいと考えていました。また、高校生のころに新司法試験への移行や裁判員制度の導入などが話題になっており、法書にも多少興味を持っていました。

### 奥深くて難しい法律の世界、友人と共に悩み、議論し、学び合った

高校時代は「法律に詳しい＝条文を覚えている」というイメージを漠然と持っていました。しかし実際は、そもそもの趣旨や判例の変遷、法解釈などの理解が求められる非常に奥深い、難しいものでした。それでも、友人たちと共に悩み、議論し、教授には書籍の調べ方から教えていただきました。一歩ずつ学べてとても貴重で楽しい大学生活でした。

### 不動産の相続登記の義務化で、相続や生前対策の分野に積極的に関わ

司法書士という仕事は、不動産の名義変更や会社の設立、後見業務や少額訴訟の代理まで本当に幅広い業務を行っています。特に現在、不動産の相続登記の義務化が決まったので、相続や生前対策の分野に積極的に関わっています。

## 薬 治療薬の開発や課題解決につながる人財の育成に取り組んでいます



熊大のココがイイ！

We Are Family

### 近親者を亡くした経験から、医者または研究者を志望

高校時代に近親者ががんで亡くなりました。そのときから、自分自身の力で何とかできないだろうか？と考え、病気に苦しむヒトを救う医者、もしくは研究者になりたいと強く思うようになりました。

### 研究の面白さにハマリ、研究活動に邁進

学部時代、3年まではサークル活動やアルバイトに明け暮れる毎日でした。4年になり、教室配属されると生活が一変！先輩と朝から晩まで実験・研究に明け暮れる日々。年次が上がるにつれ、研究の面白さにハマリ、より一層研究活動に邁進していた気がします。みんなで協力して結果が出たときは、本当に嬉しかったですね。

### 「病気や様々な問題に苦しむヒト」のために奮闘

大学卒業後、その時々で立場などは変わりましたが、常に「病気や様々な問題に苦しむヒト」のため、一日でも早くそれらを解決できるように、治療薬の開発や課題解決、さらにはそれに繋がる人財の育成に取り組んでいます。たまに息切れしそうなときもありますが、そんなときはお酒を呑んで一息つきながら(笑)、奮闘しています。

## 工 日本の産業や社会に役立つ技術の創出と実用化、シーズを事業化に繋げる研究に従事



熊大のココがイイ！

若い方を大切にされていることが魅力です。

### 二度の受験失敗に自信をなくすも、予備校時代に変わることを誓う

第一志望だった高校に落ちて、夢を考えることはありませんでした。大学受験も現役合格ならず、二度の失敗で自信をなくしましたが、予備校生のときに「変わろう」と心に誓いました。そのときの化学の講師が情熱的な方で化学が好きになり、化学に携わる仕事をしたいという夢ができました。

### 社会人とも交友関係を築いた大学時代

大学生生活は自由な時間がたくさんあったので、なにか新しいことをしたいと思い、勉強意外にもいろいろな経験をしました。大学に閉じこもることもなく、社会人の人々とも交友関係を築いていました。ただ、社会人についていこうとすると、金銭面に差が生じるので、常に金欠だった思い出があります(笑)。

### 様々な分野の研究者と共に、仕事も私生活も充実

わが国最大級の公的研究機関として、日本の産業や社会に役立つ技術の創出とその実用化、革新的な技術シーズを事業化に繋げるための研究をしています。熊本大学でも仕事をさせていただき、茨城県に来て新しいことも進めています。また、様々な分野の研究者がいっしょなので、共同での仕事や私生活も楽しく過ごしています。



## 本学の卒業生たちの今に迫る「卒業生ジャーナル」。

熊本県内はもとより、国内外で活躍している先輩たちの様子を、これまでの歩みや苦労、そして喜び、楽しみなどを通じてご紹介します。

## 教 水害を経験するも、子どもたちの一生懸命な姿に支えられています



熊大のココがイイ！

豊富な蔵書と充実した教員養成のカリキュラム。

### 夢が多かった高校時代。一番強く「なりたい」と思ったのは教師

高校生の頃は、たくさんの夢を持っていました。美容系の仕事や、通訳や外資系などの海外の文化に触れる仕事、アニメやアイドルなどのサブカルチャーに関する仕事にも憧れていました。その中で、学校での楽しい思い出やお世話になった先生のようになりたいという思いから、教師になることを決めました。

### 大学で経験したことすべてが今の土台になっている

いろいろな世界に触られた4年間でした。たくさんのご縁と良い環境に恵まれたと思います。また、在学中に震災を経験したこともあり、学び続けられる環境の有難さを痛感しました。もちろん、楽しいことばかりではありませんでしたが、大学で経験したことすべてが今の教員という自分の土台となっています。

### 毎日が新しい学びの連続

人吉市の小学校に勤務しています。毎日が新しい学びの連続です。子どもたちの成長と一緒に喜び、時には厳しく接する場面もあります。昨年度は長い休校が開けた直後に、水害に見舞われ、辛い日々が続きました。それでも子どもたちの一生懸命な姿や他の先生方のサポートに支えられ、毎日を過ごしています。

熊本大学は、

# SDGs への取組を加速させます!



©2010熊本県くまモン #K33711



2030年までの国際社会共通の目標=SDGs(持続可能な開発目標)に向けて、これまでも熊本大学はさまざまな教育・研究・社会連携の場面で取り組んできました。ゴールまであと10年を切ったいま、これらをさらに加速させ、大学全体で一丸となって取り組んでいくことを、このたび決定しました。

5月20日、学内に「くまだいSDGsワーキンググループ」を立ち上げ、組織的な支援・連携を始動させました。今後、学生や地域のみなさんと一緒に取り組む活動、普及啓発、地球的課題の解決に挑む研究推進など、具体的な取組を展開し、17のゴールに向けてスパートをかけていきます! 今後の取組については、熊本大学のホームページでご紹介していきますので、どうぞご期待ください。

## SDGsとは?

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。2015年の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

## 海の豊かさを守るために プラスチックゴミを「減らす」「出さない」「回収する」動きへ



大学院先端科学研究部(理学系)  
中田 晴彦 准教授  
NAKATA Haruhiko

近年注目されている海洋プラスチックゴミ問題の中でも、特に深刻化しているのがマイクロプラスチックによる汚染問題です。

私の研究の柱は、マイクロプラスチックによる汚染実態の解明と発生源の解析です。プラスチック自体には毒性はないのですが、プラスチックの中に含まれる難燃剤や可塑剤などの添加物、プラスチックに吸着した海水中の有害物質が生物にどんな影響を与えるかは明らかになっていません。さらに、マイクロプラスチックの発生源を明らかにすることで「ゴミを出さない」動きにもつながると考え、江津湖などのプラスチック発生源

を解析する研究も行いました。

今後も研究成果の発表など多くの人にプラスチックゴミに注目してもらう機会を作り、豊かな海をこれからの世代に残していくための「減らす」「出さない」「回収する」という動きにつなげていきたいと思っています。



※P2「未来へつなぐ。一熊本大学とSDGs」でもご紹介しています

熊本大学は、教育・研究機関としてSDGsのゴール・ターゲットを達成するために、学生や教職員が様々な取組を行っています。例えば、カーボンニュートラルの実現に向けた研究開発、災害に強い街づくりや被災者を守るための技術開発、質の高い教育の提供、生涯学習の機会促進などです。

今後は、本学の学生や教職員だけでなく、中学生や高校生、自治体や企業、地域の皆様と連携して、「誰一人置き去りにしない」よりよい世界の実現を目指すため、SDGsの達成に向けた取組を加速化します。様々な企画を計画していますので、ぜひご注目ください。

くまだいSDGsワーキンググループ  
富澤 一仁 理事・副学長



## 学生 広報スタッフ レポート

コロナ禍において、オンライン授業の開始、部活・サークルなどの課外活動の制限など、大学生活は従来の形から大きな変化を強いられています。今回は、学生広報スタッフの中から、法学部1年のゆうかさんと、文学部3年のあみさんに、お互いの生活について対談形式で話をしてもらいました。コロナ禍の熊大生の生活をのぞいてみましょう!

## 「コロナ禍の熊大生の大学生活について」

### あみとゆうかの会話

**あみ** 入学して1か月たってみて、どう? 今、大学には週に何回くらい行ってるの?

**ゆうか** 私は週2回行っているんですが、友達の中には週1回の人もあります。あまり大学に足を運べていないので、キャンパス内のことをよく分かっていない部分もあります…

**あみ** そっか…。大学に行く機会が少ないのはやっぱり寂しいよね…

**ゆうか** 私は大学の近くに住んでいるんですけど、遠くから通学している友達は、大学で対面授業を受けた後に、家に帰らず大学のパソコン室でオンライン授業を受けています。

**あみ** オンライン授業についてはどんな感じ?

**ゆうか** 私はZoomを高校生の時に使ったことがあるので操作には慣れていたんですが、使ったことがない人は大変そうでした。

**あみ** 慣れるまでZoomってちょっと難しいよね。

**ゆうか** あと、高校と違って、科目によって授業形態が違うのでスケジュール管理が大変! と思っています。

**あみ** 分かる! 先生によって授業形態が違うから、1限は対面、2限はオンライン…って感じて、ちゃんと事前に把握しておかないとバタバタしちゃう。今はどんな授業が対面で行われているの?

**ゆうか** 基礎演習のゼミとドイツ語が対面です。他の外国語を履修している友達は、オンライン授業になったそうです。

**あみ** 言語の授業をオンラインで受けるのは大変そう…

**ゆうか** そうなんです。私は言語の授業が週2回あって、それぞれ文法とコミュニケーションの授業なのですが、文法の授業はZoomで行われているので結構当てられます(笑)。

**あみ** Zoomの授業で当てられると、ちょっと緊張するよね(笑)。

**ゆうか** 先輩が受けている対面授業はどのような感じですか?

**あみ** 私は文学部なんだけど、グループワークが多いかな。グループの中で意見をまとめて、みんなの前で発表する、みたいな授業が多いね。理系だと、実験は1つのクラスを2つくらいに分けて、人数をできる限り少なくして行っているみたいだよ。1日に何回も同じ授業をしないといけない先生も大変だよな…

**ゆうか** そうなんです。学部によって授業形態はさまざまですね! でも理系の実験は対面じゃないと絶対にできないので、仕方ないですね…

**あみ** 対面授業とオンライン授業のメリット・デメリットについてはどう思いますか?

### 文学部3年 あみ

最近家にいることが増えたので、落ち着いた生活が送れるようになりました。健康に気をつけるようになって、自炊を本格的に始めました!

**あみ** 対面授業だと、授業前に友達と話ができて楽しいよね(笑)。あとは、先生と気軽にコミュニケーションを取れるのもメリットの1つかな。距離が近いから質問も気軽にできるしね。逆に、対面授業は大学に行くのが大変だよな。特に雨の日とか…

**ゆうか** 確かに、私もこの前、雨の中大学に行って、服や靴がびしょ濡れになりました…

**あみ** そうそう。あとは、教室移動が大変かな。全学教育棟と文法棟の間は結構離れてるから、急いで行かないと授業に間に合わなくなっちゃう。お昼の時間もコロナ前は学食に建物からはみ出すほどの列ができていて慌てた(笑)。

**ゆうか** えっ!? 学食って結構並びますね…。教室移動も私はまだ経験したことがないですが、大変そうだなと思います。

**あみ** オンライン授業のメリットは、移動の手間が省けるのと、Zoomだと画面共有機能があるから、先生方が配布した資料を見ながら授業を聞けて分かりやすいよね。

**ゆうか** あ、それすごく分かります! 画面共有機能を使うと資料も見やすいですね。

**あみ** ただ、オンラインだと、先生に気軽に質問しづらいよね。メールで質問するのもちよっと手間に感じる…

**ゆうか** メールだと時間もかかって、すぐに疑問が解決できないですね。

**あみ** あとは、やっぱり、友達に会えないのは結構悲しいね。

**ゆうか** 私も本当にそう思います。せっかく仲良くなった友達がいるのに、会って話せる機会が少ないととても残念です。

**あみ** そうだよな…。私もなかなか友達に会えないから、時々電話をするようにしているよ! 何気ない会話だけど、それか心の支えになってると思うな。

**ゆうか** 私は、友達とSNSを使って会話をするようにしています。他県にいる友達とも気軽にやり取りできるので、コロナ禍にぴったりのコミュニケーションツールだなと思います!

**あみ** コロナ禍でも、工夫を凝らして残りの大学生活も充実させていきたいね!

学年も学部も違う2人の話から、コロナ禍の大学生活の様々な側面が見えてきました。なかなか思い通りの学生生活とはいかず大変な状況が続きますが、社会の変化に合わせて工夫しながら生活しているそうです。今回のインタビューがみなさんの参考になれば幸いです!



## 熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

No.54 (令和3年2月1日～令和3年4月30日)

卒業生の皆様、在学生の保護者の皆様、法人・団体等の皆様、本学の退職者及び教職員の皆様から、これまでに約15億5,760万円(令和3年4月30日現在)のご寄附をいただき、研究・教育に資する事業に取り組みさせていただきました。また、熊本地震復興事業基金へお寄せいただきました寄附金は、熊本大学の復興に向けて、被害学生に対する修学支援や被災しました建物の修繕費、設備・機器の更新・修理費のために、大切に活用させていただきます。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、令和3年2月1日から令和3年4月30日までの間に入金を確認させていただきました個人155名、12法人・団体等の寄附者すべての皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない寄附者の皆様につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前に記載漏れがある場合は、誠に恐縮ではございますが、基金事務室(電話:096-342-2029)までご連絡ください。皆様のご更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 1. お名前・寄附金額の掲載

(寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※( )内の数字は、累計寄附金額(万円)です。

<熊本大学基金>

【1,500万円】	熊杏会 (2,200)						
【1,000万円】	上野 健 (1,000)						
【100万円】	宇良田 心 (100)	株式会社SYSKEN (100)					
【50万円】	株式会社ケイ・アイ・ステイナール (100)						
【20万円】	大野 知彦 (21)	大野 薫子 (21)	山下 由朗 (20)				
【10万円】	井上 清 (10)	片淵 秀隆 (22)					
【5万円以下】	伊藤 博之 (13)	後藤 重男 (2)	深堀 薫 (5)	宮本 真次 (1.2)	村上 健太郎 (14)		
	本島 昭男 (25.5)	熊本大学医学部医学科後援会 (1,371)					

### 2. お名前のみ掲載

(五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※[ ]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。

<熊本大学基金>

浅原 百合子 [3]	阿部 晋也	荒井 澄子 [8]	安樂 誠	石橋 卓也	井手 啓介	入江 徹美	岡本 三保子
梶原 和子	川上 陽一郎 [3]	木村 純久 [8]	草野 龍二 [14]	國枝 春恵 [3]	児倉 静二 [12]	酒井 康隆	坂井 洋子 [3]
坂田 満生 [16]	佐々木 信生 [4]	佐藤 千栄子 [6]	佐野 二郎	重浦 睦治 [4]	菅本 義高	仙波 伸一	多賀 隆
高田 圭子	瀧井 一信 [6]	武田 光広	辻 由紀子	津田 善幸	戸上 勝喜 [2]	中村 真兒 [2]	野崎 誉士秀
萩原 葉子 [2]	花田 郁実	原田 忠明	日吉 誠一 [4]	平野 一宇 [3]	福田 哲子	星野 純一 [3]	堀畑 正臣 [4]
帆鷲 卓夫	松方 俊秀	松田 亨 [7]	南川 武夫	養田 眞幸 [17]	宮崎 興介	村上 正人	村田 信一 [4]
森 浩平 [2]	森 義臣	薬丸 満	安永 澄男 [4]	柳瀬 出帆 [2]	矢原 幸治 [4]	山口 深	山下 尚登 [2]
山田 正廣 [2]	油布 清志 [2]	姚 毓剣	吉永 社佐	渡邊 博志	和唐 正樹	株式会社荒巻薬局 [2]	

### 3. お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人77名、5法人・団体等

REPORT

## 大学院先端科学研究部附属生物環境農学国際研究センター開所式を開催しました

令和3年4月1日付けで大学院先端科学研究部附属生物環境農学国際研究センターを設置し、4月20日に開所式を開催しました。

同センターは、生物学、化学、農学、薬学など幅広い研究分野の研究者で組織され、熊本地域に関連する農業問題を中心に、基礎から応用までの研究を進め、その研究成果を国際的に発信し、農業従事者の方にも提示していくこととしています。

開所式では、小川久雄学長、澤進一郎センター長の挨拶の後、表札の前で記念撮影を行い、センターの発足を祝いました。



REPORT

## 大学院生命科学研究部附属生体情報研究センター開所式を開催しました

令和3年4月23日付けで大学院生命科学研究部附属生体情報研究センターを設置し、同日に開所式を開催しました。

同センターは、新型コロナウイルスのスクリーニング検査や変異株解析を行うとともに、新型コロナウイルスの検査方法の研究開発も行います。これらの業務には、臨床検査技師の国家資格を持つ大学院生が共に従事することで、高度医療専門職業人を育成します。

開所式では、小川久雄学長、田代浩徳センター長の挨拶の後、テープカットを行い、参列した方々と共にセンターの発足を祝いました。



REPORT

## 株式会社ニューコ・ワンとの共同企画による展示会を開催しました

熊本大学は株式会社ニューコ・ワンと令和2年10月に覚書を締結し、同社が運営するTSUTAYA及び蔦屋書店において、共同企画による展示会を不定期で開催しています。

4月15日から21日まで蔦屋書店熊本三年坂において開催された「熊本城被災と修復の昔と今」展では、熊本城の『修復』に焦点をあてた展示を行いました。

本学永青文庫研究センターが調査を進める史料により、細川忠利の時代から熊本城が被災と修復を繰り返してきた様子を紹介したほか、大学院先端科学研究部上瀧剛准教授が凸版印刷株式会社と連携して開発した石垣照合システムの紹介を行いました。

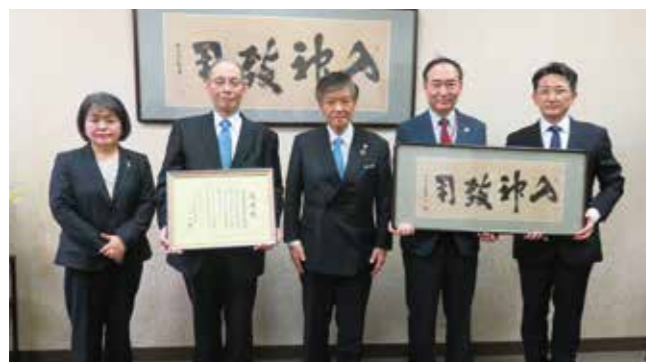


REPORT

## 栄誉会員への感謝状贈呈式を行いました

4月23日に、数回にわたり多額の御寄附を賜りました熊杏会様に対して、感謝状と記念品(扁額)の贈呈式が執り行われました。

今回の寄附金は、医学部創立120周年記念事業に使用させていただきます。



INFO

## 令和3年度熊本大学オープンキャンパスについて

令和3年度熊本大学オープンキャンパスについては、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、昨年度に引き続き、本学ウェブサイトにて特設サイトを開設し、オンラインにより情報を発信する形式で開催します。

なお、学部によってはオンラインによる進学相談会等の企画を検討していますので、詳細が決まり次第、本学ウェブサイト(https://www.kumamoto-u.ac.jp/)でお知らせします。

【問い合わせ先】 熊本大学学生支援部入試課  
TEL: 096-342-2146  
E-mail: nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp



INFO

## 「肝がんゼロを目指して」市民公開講座

脂肪肝、ウイルス性肝炎、肝硬変、肝がんについての病態から治療法まで、最新の情報を一般市民の方にわかりやすく講演します。

【開催日時】 令和3年8月1日(日) 10:00~12:00

【場所】 下記7会場にて同日同時刻に開催します。

- 玉名市民会館(第2会議室)、
- 山鹿市民医療センター(医療研修センター)、
- 阿蘇医療センター(講堂)、
- 熊本大学病院(医学教育図書棟3階第1講義室)、
- 熊本労災病院(大会議室)、
- 天草宝島国際交流会館ボルト(多目的ホール)、
- 国保水俣市立総合医療センター(西館6階講義室)

【参加対象者】 一般の方、どなたでも

【申込方法】 事前に右記の問い合わせ先まで、電話またはメールにてお申し込みください。各会場定員になり次第締め切ります。

【参加費】 無料



【問い合わせ先】 熊本大学病院肝疾患センター  
TEL: 096-372-1371  
E-mail: kanzo.kumadai@gmail.com  
【URL】 https://gastro-kumamoto-u.com/liver\_d\_top